
工事原価管理システム Ver.2.6.5 と見積エース Ver.6 との連動について

工事原価管理システム Ver.2.6.5 より、見積エース Ver.6 との連動が可能になりました。

- ・見積エース Ver.6 で作成された見積書を読み込みできます。
- ・見積エース Ver.6 用の品名マスターを使用することができます。
- ・日報明細を見積書の出力で、見積エース Ver.6 で呼び出せるファイルとして保存が可能です。
- ・従来の見積エース Ver.4 ・Ver.5 とも連動できます

但し、工事原価管理システムの日報明細の品名欄の入力文字数の違いで下記の制限がございます。

<制限事項>

1. 見積書の品名欄と原価管理システムの日報明細の品名欄の文字数

見積エース Ver.5 で作られた見積書の品名欄の最大入力文字数は、全角 40 文字ですが、原価管理システム Ver.2 の日報明細の品名欄の入力文字数は、全角 32 文字です。

工事原価管理システムの日報明細の品名欄の方が短いため、全角 32 文字以上あった場合、後がカットされます。

(見積書の明細を日報画面に引用した場合)

2. 品名マスター編集画面での品名欄の入力文字数

見積エース Ver.6 の品名マスターの品名欄は、見積書の明細と同様に全角 40 文字まで登録できますが、

原価管理システム Ver.2 の品名編集画面では、全角 32 文字までしか、登録・編集できません。

また、見積エース Ver.5 以降で追加になった歩掛 3～歩掛 5・補給率・定価は原価管理システムでは編集できません。

以上
2014 年 6 月

■開発元

(有)アクセスソフトウェア

見積エースサポートセンター 076-291-9040

〒921-8011 金沢市入江 3 丁目 132 福村ビル 202

ホームページ <http://www.access-soft.co.jp>